

平成28年度第8回政策会議概要

- 1 開催日時：平成28年10月21日（金）9：05～9：55
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり

議題1 ワーク・ライフ・マネジメントについて

●中野課長【行財政改革推進課】（資料1に基づき説明）

ワーク・ライフ・マネジメントの上半期の進捗状況について、速報値が取りまとまったので報告する。現時点では、時間外勤務時間数は目標を上回っているが、超長時間勤務者数と年休取得は目標をクリアする見込みとなっている。

部局によるばらつきもあるが、今年度の目標達成はWLMの取組における一つの通過点である。健康管理の点にも留意し、各部局の状況に応じて引き続き取組を進めていただきたい。

☆渡邊副知事

時間外勤務等の目標項目について、努力いただきありがたい。特に超長時間勤務については、社会問題となっていることもあり、注視して取り組んでいかないといけない。時間外勤務については目標を超えており、年度末に向けてしっかり取り組んでほしい。

議題2 三重とこわか国体及び全国障害者スポーツ大会の開催準備に関する職員向け説明会の開催について

●河口参事兼国体準備課長（資料2に基づき説明）

平成33年に三重県で開催する国体及び全国障害者スポーツ大会を万全な体制で進めていくためには、各部局の協力、職員の理解、参加が不可欠である。このため、国体及び全国障害者スポーツ大会への理解を深めていただく、職員を対象にした説明会を開催する。多くの職員が出席できるよう配慮願いたい。

☆西城戦略企画部長

職員への参加の呼びかけだけでなく、本日出席の幹部も参加をお願いしたい。

☆村木スポーツ推進局長

是非とも参加をお願いしたい。

☆石垣副知事

とこまる缶バッジは、今後、説明会参加者以外も配布をお願いしたい。

議題3 「県民の声を受けて」公表分の概要について

●西城部長【戦略企画部】(資料3に基づき説明)

資料3の「県民の声を受けて」公表分の概要であるが、9月1日、9月16日、10月3日及び10月17日付けの県Web(ウェブ)公表分については、県民の声の件数は61件で、県の対応件数は68件であった。

3の主な内容としては、(1)の職員に関するものとして、職員の対応についての苦情が3件、職員の勤務についての苦情が1件、職員の行動、マナーについての苦情が3件寄せられている。

また、(2)の県民の声を受けて業務の改善等へ反映したものとして、職員公舎の草刈りについての苦情、三重テラスについての提案意見、公共工事等において提出した成果品についての照会、河口堰についての提案意見、県道の管理等についての要望への対応があった。

各部局においては、内容をよく確認し、適切な対応をお願いしたい。

(質疑等なし)

議題4 政策創造員による調査・研究活動の中間報告について

●安井課長【企画課】(資料4-1~4-5に基づき説明)

政策創造員会議は、中長期的かつ部局での取組が困難な課題に挑戦して、調査・研究に取り組んでいるところである。本日は、幹部職員の皆さんからご意見、ご指摘をいただくことで、今後の取組を一層充実させ、メンバーの政策創造能力を向上させるために中間報告をさせていただく。今後の予定としては、本日のご意見等も踏まえ、引き続き調査・研究に取り組み、来年2月に最終報告書を取りまとめ、報告させていただきたい。

(WG1からWG4までの各グループから発表)

☆吉中農林水産部長

WG1(生産性の低い農家の幸福な退場)は、新しい人たちが入ってきても農地が問題になっていることや、今の兼業農家の実態など、しっかり問題をつかんでもらっていると思う。非常に参考になる。

農地の集積は第一条件ではあるが、その上に作付け体系、技術、販路などがあって、もうかることにつながるので、それらの視点を入れていただくとありがたい。

農地は水を貯める、特に山間地であれば「守る」ということが大事だと思う。また、農村文化もあるので、それらの視点がいると思う。

インパクトのある、おもしろい言葉だが、いろいろな人がいるので、例えば

「退場」ではなく「ベンツに乗ろう」など、ポジティブなタイトルにしたらどうか。また、農家は人であるから、「スクラップ・アンド・ビルド」を使うことについては、配慮をお願いしたい。

☆田中環境生活部長

WG3（人工妊娠中絶ゼロ社会の実現に向けて）については視点はいいと思うが、中絶を泣く泣くする人たちもいるので、少数派に寄り添うことをお願いしたい。

☆岡村子ども・家庭局長

WG2（児童養護施設の子どもに「英才教育」を！）については、非常にユニークな視点だと思っている。ただ、虐待を受けた子どもや発達障がいの子どもたちもいるので、そういう子どもたちへの対応も整理をしてほしいと思う。

子どもの貧困への対応は、育った環境に関わらず等しく学習の機会を提供していくことがベースにあると思っているので、その視点を踏まえながら取り組んでほしい。あまり極端に進めていくと、施設内でも新たな格差が広がっていくというリスクもあると思う。「英才教育」も今回の定義づけはわかったので、誤解のないよう進めていただけたらと思う。

WG3（人工妊娠中絶ゼロ社会の実現に向けて）については、3つの課題を設定しているが、1番目に、少子化対策として出生数を増加させるために必要だと持ってきているところに違和感がある。結果としてそうなるのはわかるが、この問題については女性を救うことや、子どもの権利をどう守っていくかが中心になっていくと思っている。

☆服部地域連携部長

WG4（車を運転しなくても、日本一自由自在なイ・ナ・カ）について、運転免許を持っていても運転できない人が増えていくというのは、問題意識として持っている。

新しい交通体系も研究していかなければいけない中で、適切なコスト負担をどう考えていくのか。規制緩和を進めていかないと、なかなか新しいことができないが、導入だけすればいいというものではないため、継続性をコストの面も含めてどう担保していくのか、という視点が重要だと考えている。

その他、子どもの関係や中絶の関係など、難しいところに踏み込んで研究していただいていると思う。ただ、言葉というのは大事だと思っている。いろいろな環境の人がいるし、学歴だけではなくて、輝いている人はたくさんいるので、くれぐれもこうあるべきだ、という発想にならないように注意してほしい。

☆石垣副知事

ユニークな提言であるし、若いのでどんどんいけ、規制など関係なく若い者の視点でいけと言いたいが、必ず反対側の意見が出てくるので、上から目線になっているところがあるのが気になる。例えば、WG1に「農地を手放させる方策」とあるが、「先祖代々受け継いできた土地だから貸すのはわかるが、所有権まではどうこう言われたくない」というのが本音である。

他のWGも含めて、弱い立場の人々の意見をきいて、配慮することも必要である。

☆鈴木知事

破天荒な政策であるということと、言葉遣いを雑にすることは違うことなので、そこは気を付けた方がいい。

WG3（人工妊娠中絶ゼロ社会の実現に向けて）について、1973年の赤ちゃんあっせん事件というのは、法律違反で事件になったが、今では養子縁組に関する「愛知方式」といわれるものと近いことをやっている。養子縁組に関することについては、三重県の主要施策として取り組んでいるので、取組を後押しするような内容もあっていいのではないかと思う。